

本美濃紙 無形文化遺産へ

ユネスコ補助機関が勧告 来月下旬に正式決定



紙をまく本美濃紙保存会の鈴木豊美さん

文化庁は28日、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の補助機関が「和紙 日本の手漉（てすき）和紙技術」を無形文化遺産に登録するよう勧告したと発表した。登録勧告が覆された例はなく、11月下旬にフランス・パリで開かれるユネスコ政府間委員会で登録が決まる見通しだ。

登録対象は国の重要無形文化財に指定されている細川紙（埼玉県）と本美濃紙（岐阜県）、石州半紙（鳥根県）のいずれも。植物、コウソウの繊維だけを原料に手すきで作られ、伝統的な製法を伝えている。登録を機に他地域の製品も含めて和紙が見直され、伝統工芸の振興や海外への日本文化の発信につながる。と期待される。

若手職人の励みに 新たな販路も期待

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に「和紙」が登録される見通しになった。製作技術を伝える人たちは「責任を感じる」と身を引き締めつつ、喜びや将来への抱負を語った。

父村周辺で伝承されてきた。現在は「細川紙技術者協会」の職人十数人が技術を守り続ける。協会の鷹野禎三会長（79）は、登録勧告の知らせに「うれしい気持ちと同時に、大きな責任を感じる。良い技術を残すため、後継者を育てていくことに尽くしたい」と力を込めた。

鷹野会長の工房で研修を積んだ高山紗希さん（29）は「現代の生活の中で使えるものを作り、将来に残していきたい」と話した。

- 日本のユネスコ無形文化遺産**
- 能楽 ●人形浄瑠璃文楽
 - 歌舞伎 ●雅楽 ●相撲
 - 小千谷縮 越後上布(えちごじょうぶ)
 - 結城紬(ゆうきつむぎ)
 - 日立風流物(ひたちぶりゆもの)
 - 京都祇園祭の山鉾(やまぼこ)行事
 - 飯島(いひじま)のトシドン

同社は2013年、ヤマモリ（桑名市）やキッチン飛騨（高山市）など、地元食品・飲食事業ら計10社程度が共同出資し設立した。「地産地消」や「地域活性化」をテーマに掲げ、プリンなどの洋菓子をほじめ、こんにやくや有機ワインなど延べ10種類以上をプロデュースした。

ご当地グルメの企画・開発を手掛けるI. T. O. un（=アイティーオーアン、本社四日市市羽津、伊藤竜児社長、電話059・366・2535）は、地元中小の飲食事業者と手を組んで食品メニューを共同開発するプロデュース事

I. T. O. un

業を拡大する。このほど「四日市とんてき」や「飛騨牛」など三重県や岐阜県にある特産品を使った三つの商品を開発、一部商品の販売を始めた。地元住民に加えて地域を訪れる観光客に販売することで、地元経済の活性化を後押しする。（四日市・柳田宏行）

地元食材使い 3 商品発売

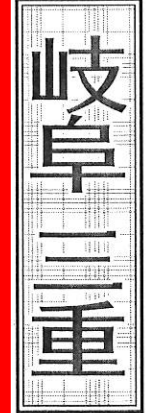


とんてきや焼きはまぐりを具材にしたライスコロッケなど新商品をPRする伊藤社長（右から2番目）ら

旅行社と携 ツアー昼食に提供も

で販売されている。釜飯は3アイテムを用意。焼きはまぐり、飛騨牛、とんてきとフォアグラをそれぞれメイン食材に据えている。価格は1300〜1500円。唐辛子の「やみつきふ

食品プロデュース事業強化



- 岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通
1-12
岐阜中ビル8階
058(266)7576
FAX
058(262)6571
- 東濃支局
多治見市上野町
1-75
日映マンション
III 602
0572(23)7812
- 西濃支局
大垣市本町2-6
スタッドI 602号
0584(75)1289
- 三重支社
四日市市浜田町
3-12
四日市三交ビル
3階
059(354)6116
FAX
059(329)5333
- 津支局
津市桜橋1-
245-3
グランメゾン
桜橋3階
059(228)2545
FAX
059(271)6311



大勢のデザイナーらが参加した



湧水保全の大切さを訴えられた

【大垣】湧水の魅力や恵保全活動などの事例を全国へ発信する「湧水保全フォーラム全国大会」が大

無形文化遺産 2009年

の観光協会と共同で商品開発することも検討しており、「食の新しいブランドを構築することで、地元企業の活性化を加速させていきたい」（伊藤社長）としている。